

難民写真展 開催

～「難民」という生き方～
～The Way of Living as Refugees～



地中海で救出された人々を乗せた船（写真提供：国連難民高等弁務官事務所）

2016年日本の難民認定（2月10日速報）（日本政府：法務省報道発表資料より）

申請者数：10,901人 難民認定数：28人 日本在留が認められた人：125人

世界の人数は 65,600,000人（2016年末：難民・国内避難民・庇護申請者）過去最多。

『難民写真展：開催日程』

大分市ホルトホール1階 10月14日（土） 15日（日）

11:00～18:00

9:00～17:00

津久見市市民会館1階 11月 4日（土） 5日（日）

10:00～17:00

9:00～16:00

『難民写真展 開催』にご協力頂いた方々

- ・国連難民高等弁務官(UNHCR)駐日事務所
- ・国連UNHCR協会・難民支援協会
- ・アムネスティ・インターナショナル日本

APU立命館アジア太平洋大学
学生サークル

Peace×Piece の

みなさまに「写真説明」の
翻訳をご協力いただきました。



©Giorgos Moutafis/Amnesty International

パキスタンからギリシャへ 子どもと一緒に逃れた女性。シェルターがなく、橋の下で暮らす。



©Giorgos Moutafis/Amnesty International

シリア難民の少女ノウラ6歳。母親と兄弟と一緒にギリシャに留まっている。学校へ行っていない。いつかはドイツの父親と再会する日を心待ちに！

写真提供：アムネスティ・インターナショナル日本（国際人権団体：1977年ノーベル平和受賞）

大分の「難民写真展」応援させていただきます。

2014年8月、IS（イスラム国）はモスル近郊のキリスト教徒の町とヤジディ教徒の町を襲いました。シンジャル山の山頂に3万人のヤジディ教徒が逃げ込み数週間も助けが届かない状態が続きました。この赤ちゃんは、まさにシンジャル山で20日間を生き延びた子でした。
2017年6月29日（イラク隣国のヨルダンで活動中）高遠菜穂子

おひさまの会

主義や思想を掲げるのではなく
ご来場者の皆様に
「ありのままの世界」を
知っていただき、ご来場の皆様との
出会いを大切にして
あらゆる思想、宗教、主義や思想に
とらわれる事なく

『人はみな生まれながらにして
平等で、幸せを求める事ができる』
この事を認め合う仲間づくり
を求めて活動しています。
この大分で！！

高遠菜穂子さん！イラクから
応援メッセージ 届く！



「難民写真展」主催団体：大分県の人権啓発グループ

『おひさまの会』

～人権は陽の光のように、すべての人にふりそそぐ～

☎ 870-0279 大分市つるさき陽光台19-1 連絡責任者：大沼 啓明
電話：080-5217-6671 TEL:097-560-0648 FAX:097-560-0691
e-mail: chisyu0316@gmail.com